

「双葉地域における中核的病院整備基本構想」を策定しました！

双葉地域における中核的病院のあり方について、地方自治体や医療関係団体等で構成する検討会議において議論を重ねてきましたが、このたび病院のコンセプトや機能等について取りまとめた整備基本構想を令和5年1月30日に策定しました。



【検討会議の様子】

コンセプト

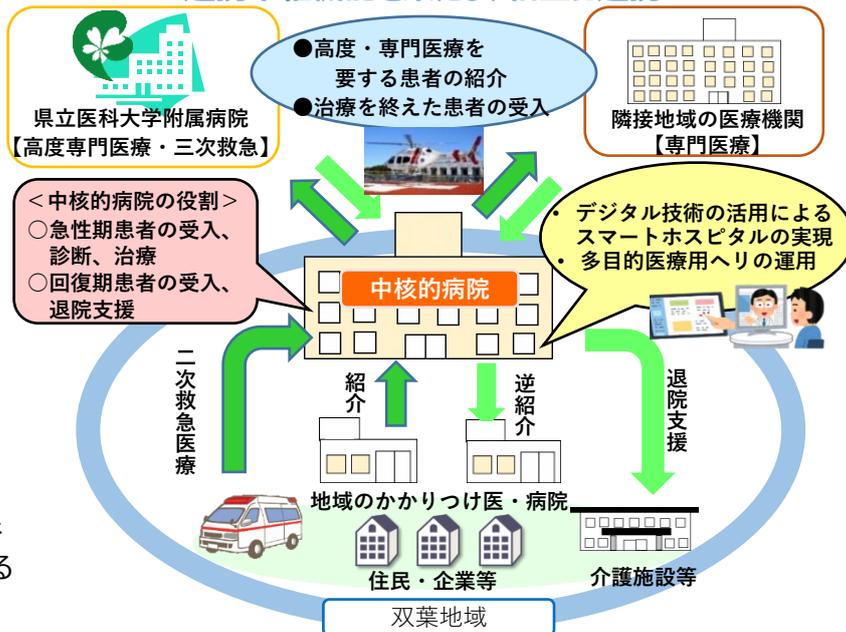
▶ 地域に密着し、連携の核となる病院

- 地域のニーズに対応した医療の提供、地域包括ケアシステム構築支援、救急医療の提供などを担い、地域に根差した医療の提供を目指します。

▶ 地域の発展に貢献し、医療従事者に魅力ある病院

- 福島国際研究教育機構（F-REI）との連携を視野に、地域の発展に貢献します。
- 充実した研究環境による医療人材の確保や特色ある教育・人材育成プログラムによる専攻医等の受入を行います。

【連携イメージ】 連携中枢機能を果たし、相互に連携



想定診療科

20科

- 内科（循環器、消化器、糖尿病、呼吸器）※1
- 整形外科※1
- 皮膚科
- 麻酔科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 救急科※3
- 産婦人科
- リハビリテーション科
- 総合診療科※2
- 眼科
- 小児科
- 外科※1
- 泌尿器科
- 精神科
- 人工透析※4

※1 開院時の入院対応は、内科、外科、整形外科を想定 ※2 院内標榜 ※3 二次救急や休日夜間など地域の医療機関が開院していないときの急病、原子力災害医療への対応 ※4 双葉地域の医療体制の整備状況（民間医療機関等での診療状況）を踏まえて対応

病床規模

250床前後（開院時は100床前後）

病床区分	機能
一般	急性期機能（急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けた医療を提供）
	回復期機能（急性期を経過した患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供）
感染症	感染症患者の受入

整備場所

福島県大熊町大字下野上字大野地内

現在の大野病院があるエリアへ
新築により整備します。

交通アクセスの利便性や用地の拡張可能性の高さから、『大野病院エリア』を選定しました。



整備スケジュール（想定）

開院時期は、**令和11年度以降を想定**。なお、整備工程の精査などにより、できる限り早期の開院を目指します。

	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度以降 (2029～)
基本構想	→						
基本計画		→					
調査、基本・実施設計			→				
現病院解体（設計含む）		→					
造成、建築工事（外構工事含む）				→			

詳しくは、
ホームページをご覧ください。

双葉地域における中核的病院整備基本構想

検索

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25010a/futabakousou.html>

令和
5年度

医療安全に
関する標語の

管理者賞・病院局長賞

が決定しました！

医療安全週間の取組

として、各病院・診療所で医療安全に関する標語を募集し、各院で入賞した作品から選定しました。

どんな取組？

11月25日
(いい医療に向かってGO)

を含む1週間を

「県立病院医療安全週間」とし、

勤務する職員の医療安全への理解や認識を深め、
意識の向上を図るために毎年行っています。

管理者賞

急ぐほど
マニュアル守って
声出し確認

宮下病院 看護部

病院局長賞

ミスを呼び
慣れと焦りと
思い込み

ふたば復興診療所

管理者メッセージ



地域の皆様の健康をしっかりと守ることができる医療を確保し、
安全・安心で良質な医療を提供し、地域から信頼され地域に
貢献できる病院を目指します。

令和5年度は双葉地域の復興・再生を一層支えるため、
「双葉地域における中核的病院整備基本構想」を策定しました。

福島県病院事業管理者 阿部 正文